

「倉敷市」50周年記念 第31回倉敷音楽祭

# 倉敷管弦楽団演奏会

2017  
3/20<sup>月祝</sup> 開場/14:30  
開演/15:00

倉敷市民会館



指揮/菊池 東  
演奏/倉敷管弦楽団



Guest  
ソプラノ/横山 恵子



Guest  
テノール/福井 敬



■主催/倉敷市・山陽新聞社・倉敷市文化振興財団 ■共催/倉敷市教育委員会  
■協賛/公益財団法人JFE21世紀財団



## 曲目紹介

### デュカス／魔法使いの弟子

魔法使いの留守中、弟子がほうきにかけた魔法が解けなくなり水があふれて洪水のように…ディズニー映画「ファンタジア」でもおなじみですね。木管楽器が中心となり曲を進めます。

### 服部隆之／真田丸

あまりの人気で史実がひっくり返る（真田が徳川に勝つ）のでは？と言われたドラマのオープニング曲。本日団員の衣装は黒色ですが心意気は赤備え（真田軍の甲冑は赤色）です。

### 芥川也寸志／弦楽のためのトリプティーク

弦楽器だけで演奏する三楽章の意。1953年発表。1楽章と3楽章は、テンポの速さと刻んだ音符で止まらない進歩、高度経済成長の兆しを表しているかのようです。2楽章（子守歌）は5拍子と3拍子を交ぜながら息の長い旋律で構成され、控えめで陰影の淡いメロディが終わりを告げると心にぬくもりが残る美しい曲です。

### プッチーニ／

#### 歌劇《蝶々夫人》第一幕から～愛の二重唱～

結婚を反対されても一途に愛を貫こうとする10代後半の純粹無垢な蝶々夫人。その美しい娘に恋するも本国アメリカへ帰るまでのこと、と軍服の下に男のずるさを隠す士官ピンカートン。迫る悲劇の前に二人の止められない思いを歌い上げた作品です。

### フンパーディンク／

#### 歌劇《ヘンゼルとグレーテル》序曲

グリム童話を題材にしたこのオペラはヨーロッパではクリスマス定番曲。皆さんはどんなお菓子の家を想像されますか？

ホルン重奏で始まり盛り上がり、チューバを加える等、層の厚い楽曲。師匠ワーグナーの色の濃い作品です。

### ヴェルディ／歌劇《リゴレット》から「女心の歌」

リゴレットの美しい娘ジルダと愛を誓った後、居酒屋で別の女を口説く前に「女心は風の中の羽根のよう」と好色のマントヴァ公爵が歌う。大ヒットを予感し直前まで歌手にも隠していたこの曲は、初演当日、観客が大合唱をした、というイタリアらしい逸話も有ります。

### プッチーニ／

#### 歌劇《トゥーランドット》から「この城の中で」

民族間の争いなどから深い絶望感により冷血な姫となった絶世の美女トゥーランドット。その計り知れない悲しみの歌。ドラマティックですが非常に高度な技術を要する難曲です。

### プッチーニ／

#### 歌劇《トゥーランドット》から「誰も寝てはならぬ」

「トゥーランドット姫」は城（紫禁城）から北京市民に「この王子の名がわかるまで誰も寝てはならぬ」と言い、それを聞いた王子が歌う、テノール歌手憧れの名曲中の名曲。

### マスカーニ／

#### 歌劇《カヴァレリアルスティカーナ》から間奏曲

ドラマやコマーシャルで人気曲。劇中では、祈りを捧げるかのように決闘前に演奏されます。

### ワーグナー／

#### 歌劇《タンホイザー》より「この殿堂で」

神と人間が共存している世界で、快樂の女神に溺れて失踪していた騎士タンホイザー。友人に促されやっと戻り、殿堂で行われる歌合戦に参加することを知ったエリーザベト。信じて待ち続けた分大きくなった喜びを歌います。スケールの大きい管弦楽を従えてのソプラノ独唱、ワーグナーの壮大な世界観をたっぷりとお楽しみ下さい。



## ごあいさつ

「倉敷市」50周年記念 第31回倉敷音楽祭「倉敷管弦楽団演奏会」の開催にあたり、ごあいさつ申し上げます。

倉敷音楽祭は、昭和62年に、新市発足20周年を記念して始まったものであり、平成21年からは、日本各地で育まれた特色ある音楽芸能を紹介する「地域間文化交流」をコンセプトとして開催しております。今回は、「倉敷市」50周年記念として、過去の音楽祭で特に人気の高かった全国各地の伝統芸能を再結集します。

「地域間文化交流」の他にも、倉敷音楽祭では「市民制作公演」として、倉敷を代表するアマチュア文化団体を中心となって企画する公演があります。この「倉敷管弦楽団演奏会」もその一つです。倉敷管弦楽団は昭和49年の設立以来、指揮者・菊池東先生の御指導のもと、質の高い演奏を目指して研鑽を積み、倉敷の文化の発展に貢献されてきました。

本日は映画やドラマの楽曲や、日本を代表する歌手の横山恵子先生と福井敬先生をお迎えしてのオペラ演奏など、多彩な演目と伺っています。文化は人々の心の拠り所であり、心を豊かにするものです。本日の演奏が、御来場の皆さまの心に響き、湧き興る感情に幸せを感じていただければ、主催者としてこれほど嬉しいことはありません。

倉敷管弦楽団と御来場の皆様の今後ますますの御活躍と御発展をお祈りいたします。



倉敷市長

伊東香織

## プログラム

デュカス / 魔法使いの弟子

服部隆之 / 真田丸

芥川也寸志 / 弦楽のためのトリプティーク

プッチーニ / 歌劇《蝶々夫人》から一幕  
愛の二重唱

—— 休憩 ——

フンパーディンク / 歌劇

《ヘンゼルとグレーテル》序曲

ヴェルディ / 歌劇《リゴレット》から  
「女心の歌」

プッチーニ / 歌劇《トゥーランドット》から  
「この城の中で」

プッチーニ / 歌劇《トゥーランドット》から  
ネッスンドルマ「誰も寝てはならぬ」

マスカーニ / 歌劇《カヴァレリアスチカーナ》から  
間奏曲

ワーグナー / 歌劇《タンホイザー》から  
「この殿堂で」



## プロフィール

### 横山 恵子

岡山県出身。東京音楽大学卒業、同大学研究科修了。92年渡欧しバイエルン州立コーブルク歌劇場に認められ『ドン・カルロ』エリザベッタで欧州デビュー。小澤征爾指揮『蝶々夫人』タイトルロールで本格的に日本デビュー。2007年4月、15年間のヨーロッパ生活を終え帰国後もオペラやコンサートにおいて目覚ましい活躍を続けている。トゥーランドット、アイダ等でも高い評価を得、2016年9月、東京二期会オペラ劇場『トリスタンとイゾルデ』イゾルデに主演。ヴェルディ、フォーレ、モーツァルト等のレクイエム、「第九」等でも活躍を続けている。東京音楽大学教授。二期会会員

### 福井 敬

岩手県出身。国立音楽大学及び同大学院、文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞（第1位）。出光音楽賞、ジロー・オペラ賞、芸術選奨文部科学大臣賞、等受賞多数。英雄的かつ他者の追従を許さない秀でた演唱で日本を代表するテノールとして活躍している。「第九」や宗教曲のソリストとしても多くの国際的指揮者から信頼を得ており、2016年9月、東京二期会オペラ劇場『トリスタンとイゾルデ』主演や同年10月、サントリーホール開館記念日コンサート「第九」（ウィーンフィルハーモニー管弦楽団）等にも出演。国立音楽大学教授。二期会会員

## 倉敷管弦楽団 本日の出演者

○指揮  
菊池 東

○ソロ・コンサートマスター  
佐藤真理子

○第1 ヴァイオリン  
阿曾沼和代  
藤田 真理  
渡邊 陽子  
森安 鋭子  
沖中 絵美  
荒木加英子  
三宅 郁子  
丸山 博樹  
新谷 敏子  
柳井 典子

○第2 ヴァイオリン  
小林 佐知  
串部 美幸  
上原 保美  
大村 奈美  
黒田 充亮  
中川 雅美  
中塚えりか  
原田 洋輔  
平松 綾  
村上 節美

○ヴィオラ  
松江 靖子  
鮑浦 良和  
赤塚 佳代  
岩瀬 裕子  
片山佳央理  
黒田 和宏  
武本 克己  
野田 卓也

○チェロ  
松江 雄二  
栗木由美子  
石川 恵子  
大西 智幸  
矢田義比古  
田中 光子  
辻田 順子  
松本 圭子  
平松 真弓

○コントラバス  
糸島 早苗  
魚住 菜月  
本屋敷勝信  
\*嶋田 真志  
\*仲原 利江

○フルート  
宮尾 紀子  
小池 薫  
月本 裕子

○オーボエ  
瀬尾 祥治  
羽井佐浩気  
吉田 容子

○クラリネット  
斎藤多恵子  
福島 恭子  
松本美和子  
安原 由美

○ファゴット  
浅野 絢子  
梶房 聖伸  
\*西牧 岳

○ホルン  
相澤 弘明  
\*芦田 萌  
高崎 智子  
澤田 秀実  
濱口 桃子  
吉市 幹雄

○トランペット  
原田 宗範  
山口 裕美  
柚木 麻澄

○トロンボーン  
樋口 仁  
\*原田 直郎  
\*大村昌治郎

○チューバ  
浅野 尚行

○ハープ  
竹村 知子

○打楽器  
\*井上 充隆  
\*今井 忍  
\*河田江理奈  
\*赤田 早紀  
\*李 成花

\*客演